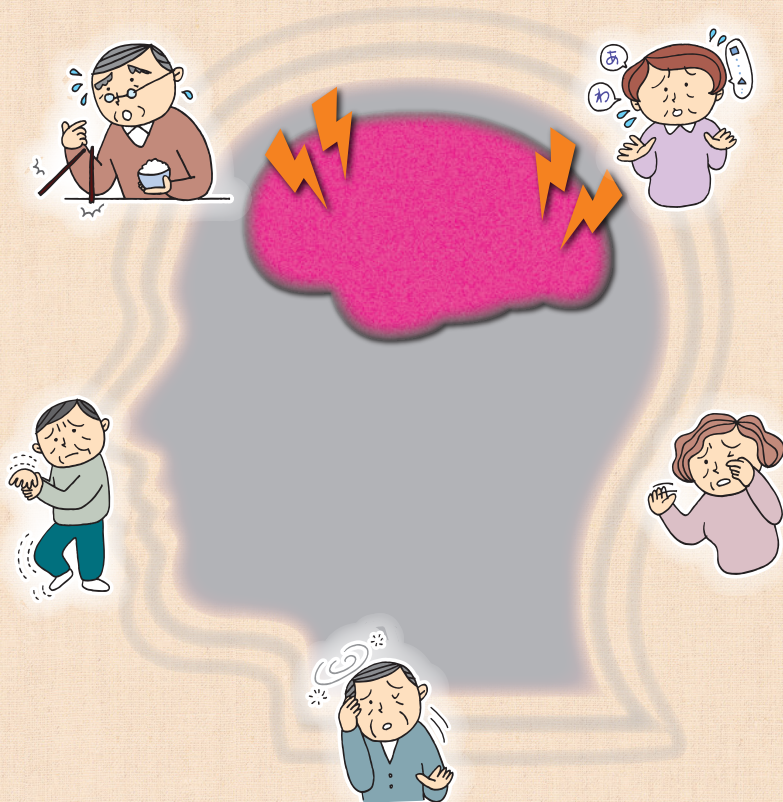


脳梗塞は 初期対応が大切です



まえぶれ症状がみられたら、すぐに医療機関へ

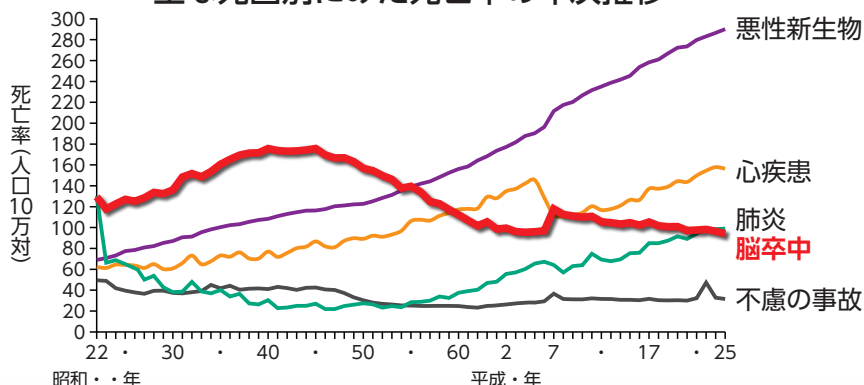
監修

国立循環器病研究センター 脳血管部門長 豊田 一則 先生

日本における脳血管障害の現状と患者推移

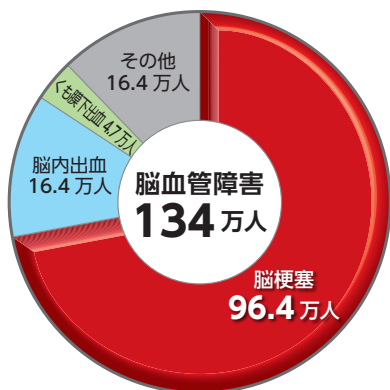
- 脳血管障害(脳卒中)は、悪性新生物(がん)、心疾患(心臓病)、肺炎に次いで日本における死因の第4位になっています。

主な死因別にみた死亡率の年次推移¹⁾

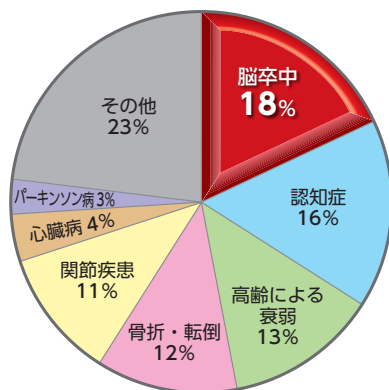


- 一度脳卒中を起こすと約80%の方には後遺症が残るため、介護が必要となった原因の第1位となっています。
- 脳血管障害治療に約1.8兆円の医療費が費やされており、特に70歳以上の高齢者ではその割合が高くなっています(約70%)。²⁾
- 発症予防、再発予防ともに高血圧のコントロールが最も重要と考えられています。
その他脳卒中の危険因子として、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙、飲酒が挙げられます。

脳血管障害患者数³⁾



介護が必要となった主な原因⁴⁾

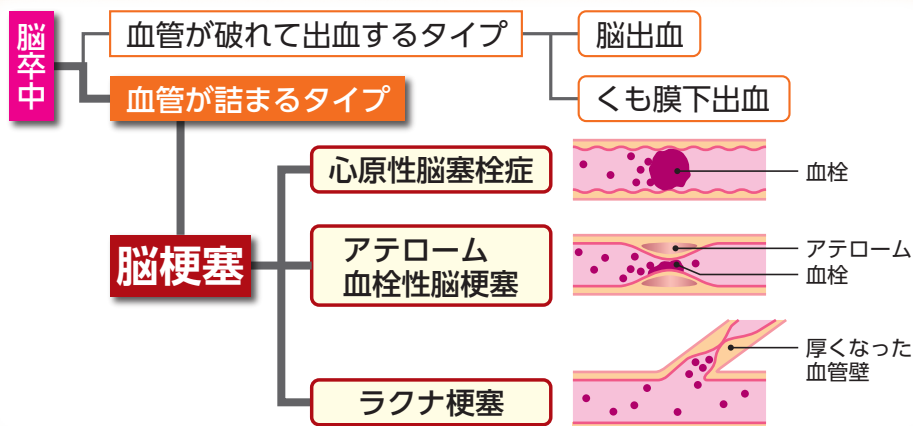


1) 平成25年人口動態統計月報年計改変
3) 平成20年患者調査

2) 平成24年度国民医療費
4) 平成25年国民生活基礎調査改変

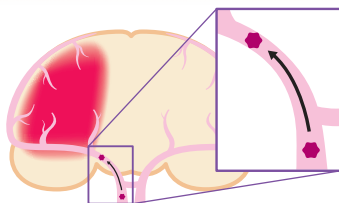
脳梗塞とは？

- 「脳血管障害」または「脳卒中」は、脳の血管が詰まったり破れたりしておこる病気の総称です。
- 脳梗塞とは、一部の血流が悪くなり酸素やブドウ糖が供給されなくなることで、脳神経細胞が壊死に陥った状態を指します。
- 病態により「心原性脳塞栓症」「アテローム血栓性脳梗塞」「ラクナ梗塞」の3つの病型に分けられます。



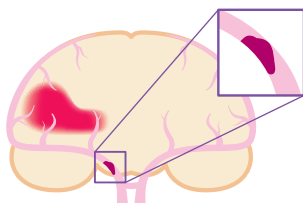
● 心原性脳塞栓症

心臓にできた血栓(血のかたまり)が脳の血管に流れ込み、比較的太い血管が詰まっておこる脳梗塞



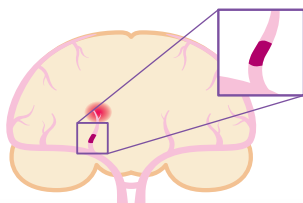
● アテローム血栓性脳梗塞

比較的太い血管が動脈硬化をおこして狭くなったり、詰まったりしておこる脳梗塞



● ラクナ梗塞

細い血管が詰まっておこる脳梗塞



見逃すな！**脳梗塞**のまえぶれ

急にこれらの症状がみられたら、一過性でも軽くてもすぐに医療機関を受診して医師の診察を受けましょう。



片方の手足に力が入らない
持っているものを落とす



ろれつが回らなくなる
言葉が出てこない



片目が見えにくくなる
ものが二重に見える



片方の手足や顔が
しびれる



めまいやフラフラして
まっすぐ歩けない

病院・医院名